

# 第5回

# 英語大会

同志社  
中学生・高校生

立石杯

Recitation & Speech Contest

## 参加資格

同志社法人内の中学生・高校生、新島学園及びヴォーリズ学園の中学生・高校生を対象  
過去の当大会で、最優秀賞を受賞したことのない者

## 発表部門

### 中学生の部 Recitation Section (暗唱の部)

- ① D部門 Domestic Department
- ② I部門 International Department

### 高校生の部 Speech Section (スピーチの部)

- ① D部門 Domestic Department
- ② I部門 International Department

※部門の区分について

(I部門)

- ① 満6歳の誕生日以後に、通算1年以上または継続して6ヵ月以上、英語圏\*に居住した者
- ② 海外での居住地が英語圏以外であっても、6ヵ月以上、現地のインターナショナル・スクールやアメリカン・スクールに在籍した者

\*主に英語を使用する国・地域(英語圏)については、外務省ホームページ(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>)で確認すること

(D部門)

I部門以外のものが対象

## 発表内容

- ◎各部門ともにテーマは設けない。発表するタイトルは各自自由設定とする。なお、Recitation は未発表の題材のものに限る。Speech は自作、未発表のものに限る。
- ◎Recitation、Speech とともに4分以上5分以内の長さとする。
- ◎各 Section で使用する言語は英語。
- ◎他者の文章・記事、WEB サイトなどを参考にした場合、もしくは引用した場合、その出典を明示すること。

## 表彰

**最優秀賞 (立石賞) :** 立石杯授与 賞状と副賞 (海外留学奨励金 10 万円)

**優秀賞 :** 各部門1名 賞状と副賞 (海外留学奨励金 5 万円)

**優良賞 :** 各部門1名 賞状と副賞 (海外留学奨励金 3 万円)

**参加賞 :** 参加者全員 記念品など (図書カード 5 千円分/同志社グッズ)

※立石賞は、高校生の部を対象として選考します。また、立石杯には、リボンに受賞者の学校・学年・氏名を記名のうえ、各学校において1年間保管します。

※ホームページで入賞者及び入賞作品を発表します。

## 出場者数

D部門、I部門ごとの制限を設けず、同志社法人内の各学校から中学生の部3名以内、高校生の部3名以内、新島学園、ヴォーリズ学園から中学生の部各1名、高校生の部各1名が会場。

## 応募方法

同志社法人内の各学校は応募資料を各学校運営委員まで提出  
新島学園、ヴォーリズ学園は応募資料を各学校担当教諭まで提出

### 運営委員

北 幸史 (法人事務部長)	采野 純世 (同志社女子中学校・高等学校教諭)
橋崎 淳子 (同志社中学校・高等学校教諭)	米澤 利聡 (同志社女子中学校・高等学校教諭)
反田 任 (同志社中学校・高等学校教諭)	佐古 芽衣 (同志社女子中学校・高等学校教諭)
Andrea FORBES (同志社香里中学校・高等学校教諭)	Devin JIMMINK (同志社国際中学校・高等学校教諭)
八井 健太 (同志社香里中学校・高等学校教諭)	Thomas STERLING (同志社国際中学校・高等学校教諭)

### 応募資料

- ① 所定の応募用紙
  - ② 英文の発表原稿
- 応募資料の詳細は以下のホームページを参照してください。  
[http://www.doshisha.ed.jp/information/english\\_contest-5.html](http://www.doshisha.ed.jp/information/english_contest-5.html)

### 応募期間

2015年11月24日(火)から2015年12月18日(金) 16時まで

会場

日時

同志社大学今出川校地  
神学館礼拝堂

2016年2月14日(日)  
12時開会



**【交通アクセス】**  
 京都市営地下鉄  
 今出川駅下車 ⑥番出口より徒歩1分  
 京阪電車  
 出町柳駅下車 徒歩 15分  
 ※キャンパスに駐車場はございません。

お気軽にご来聴ください

主催 学校法人同志社

大会趣旨

同志社は、新島襄による1875年の創立以来、建学の精神の一つに「国際主義」を掲げ、良心を手腕に運用し国際社会で活躍する人物の養成に努めてきました。同志社法人内中学校・高等学校では、立石信雄氏からの寄付金（立石ファンド）を基に特色ある国際主義教育を展開し、英語能力の向上を図るとともに国際感覚豊かで国際社会に貢献できる生徒の育成を目的として、各種プログラムを実施しています。

そのプログラムの一貫として、第5回目となる英語大会を開催いたします。英語はそれを習得すること自体が目的ではなく、あくまで意思を伝えるための手段です。他者の前で発表を行うことを通じて、相手に理解してもらえ、実践的な英語力の向上を目指します。

今年度も、法人内という枠を超え、新島学園とヴォーリス学園にもご参加いただきます。教育環境の異なる生徒同士が競い合い、お互いが刺激されることにより、少しでも英語に興味を持つ生徒が増えることを期待しています。より多くの皆さんがこの大会に参加されることを願っています。

大会概要

◆Opening Ceremony

開 会  
礼 拝（聖書朗読ならびに祈祷）  
総長挨拶  
大会説明・審査委員紹介

◆Part 1

中学生の部 Recitation Section（暗唱の部）  
①D部門 Domestic Department  
②I部門 International Department

◆Judging Time/Worship Service

審査委員会  
／小学校、国際学院初等部の児童による発表

◆Part 2

高校生の部 Speech Section（スピーチの部）  
①D部門 Domestic Department  
②I部門 International Department

◆Judging Time/Presentation

審査委員会  
／Punahou SGLI 参加者によるプレゼンテーション

◆Closing Ceremony

表彰式（表彰及び講評）  
閉 会

審査基準

中学生の部 Recitation Section(暗唱の部)  
Presentation, Pronunciation and Intonation, Memorization, Time Limit

高校生の部 Speech Section(スピーチの部)  
Presentation, Pronunciation and Intonation, Content, Time Limit

審査委員

中 村 艶 子 (同志社大学グローバル・コミュニケーション学部准教授)  
Gavin BROOKS (同志社大学グローバル・コミュニケーション学部助教(有期))  
Shaun A.GATES (同志社大学グローバル地域文化学部准教授(有期))  
Maria L.CORREA (同志社女子大学学芸学部国際教養学科助教(有期))  
Timothy L. MEDLOCK (同志社女子大学表象文化学部英語英文学科准教授)

著作権の取扱い

大会当日のスピーチ原稿については、著作権を放棄したものとします。また、当日の音声・映像の著作権は、学校法人同志社に帰属するものとします。

パンフレット・Webでの公開を通して一人でも多くの方々にスピーチを知ってもらいたいという理由からです。